

日野市監査委員告示第 4 号

地方自治法第199条第14項の規定により、令和3年度財政
援助団体監査の結果に基づき措置を講じた旨通知があったので、
別紙のとおり公表する。

令和4年（2022年） 9月 6日

日野市監査委員 福 島 基

日野市監査委員 鈴 木 洋 子

監査結果に基づく指摘事項（意見・要望）

（令和3年度財政援助団体監査）

指摘事項（意見・要望）	改善案、講じた措置事項
<p>【公益社団法人 日野市シルバー人材センター】</p> <p>1 補助金に係る事務について 補助金に係る会計その他の事務は、公益社団法人日野市シルバー人材センター定款、事務規程及び財務規程等に基づき、概ね適正に執行管理されているものと認められた。</p> <p>2 予算の執行について 予算の執行、契約その他の会計事務については、定款及び財務規程等に基づき、概ね適正に執行管理されているものと認められた。 しかし、財産目録に一部誤りが見られ、また一部において、次のような点が見受けられた。 ・経理伝票の領収書に領収印がないもの。 ・財務規程に定められた見積書を徴取していないもの。 ・財務規程に定められた指名競争入札をせず、見積合わせにより契約締結を行っているもの。 ・財務規程に定められた物品等の帳簿類を備えていないもの。 予算の執行に係る実態と規程等の不整合については、今後事務処理等が適正に執行されるよう事務の改善及び規程の見直し等を図られたい。</p> <p>3 安全就業について 近年増加傾向にある事故の発生について、引き続きリスクアセスメント研修の実施等、さまざまな事故防止策を講じ、会員ひとり一人の安全意識の向上を積極的に図られ、事故防止を徹底されたい。</p> <p>4 その他 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による就業機会の減少等に伴い、前年度より大幅に会員数の減少が見られた。また、会員の平均年齢が上昇している一方で、今後 ICT 世代の加入が見込まれるなど過渡期を迎えている。 今後の運営にあたっては、80 歳代の高齢会員</p>	<p>1 補助金に係る事務について 今後も引き続き適正な執行管理に努める。</p> <p>2 予算の執行について ・財務規程について、日野市契約事務規則及び事務処理実態に照らし、不要な帳簿類の規定の削除等、事務処理実態に合うよう規定の改正などを行った。 ・監査結果について、所内会議を開催し、事務処理の根拠規程の確認及び実務と規程の整合の確認を行うなど、改善を図るよう周知した。</p> <p>3 安全就業について 熱中症予防や降雪時の転倒注意等、SNS を活用したタイムリーな注意喚起の取組を行うほか、体力増強や健康管理の取組を行っていく。</p> <p>4 その他 コロナ禍で希薄となった会員同士の交流を促進するとともに、会員の知識・経験を生かした活力ある地域社会づくりに寄与するセンターとなれるような事業を推進していく。</p>

が得意とする事業分野の就業機会の開拓をはじめ、世代に応じた仕事の創出、女性会員の就業機会の開拓をはじめ、世代に応じた仕事の創出、女性会員の就業機会の拡大などを積極的に行うとともに、人材派遣事業の拡大やいきいきカルチャー教室などの独自事業の展開を図り、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与されるよう、益々の発展を期待したい。

【高齢福祉課】

1 補助金の交付事務手続き等について

補助金に係る事務手続き等については、公益社団法人日野市シルバー人材センター補助金交付要綱に基づき、概ね適正に執行されているものと認められた。

しかし、補助金の内容及び交付対象について、説明聴取における説明等により理解はできたが、当該交付要綱の条文ではわかりにくいいため、明確になるよう当該交付要綱の改正を検討されたい。

また、日野市シルバー人材センターの発議（申請）文書と高齢福祉課における收受文書に相違がみられた。書類の受付については、事務処理の徹底を図り、適正に処理されたい。

補助金の交付にあたっては、補助金交付要綱に基づくとともに、日野市シルバー人材センターから適切に申請書類を受付し、補助対象経費や同センターの財務内容等を精査し、審査のうえ補助金の決定に努められたい。

高齢者の生きがいの創出や地域活性化など、高齢者の就労と社会参加を促進するため、日野市シルバー人材センターとは、今後も引き続き連携を密にして、その取組への支援をされつつ、指導監督に努められたい。

1 補助金の交付事務手続き等について

都補助金交付要綱が改正される際に、市の補助金交付要綱についてもわかりやすい文言への検討を行う。

また、シルバー人材センターと高齢福祉課の文書について、双方確認を徹底していく。